

研究課題番号	SⅡ-2-3
研究課題名	海洋プラスチックごみのモニタリング・計測手法等の高度化
研究実施期間	平成30年度～令和3年5月※
研究機関名	東京海洋大学
研究代表者名	東海 正

※新型コロナウイルスの影響のため、令和3年3月から2か月延長

1. 委員の指摘及び提言概要

前処理を含めた微細なマイクロプラスチック（MP）の検出法、海底堆積物中のMPの蛍光を活用した検出法、さらに UAV と AI を組み合わせた海岸漂着プラスチックごみ定量化手法などについて、雑誌論文での公表、ガイドラインの策定への反映、国民との科学・技術対話、メディアへの情報発信などしっかりと成果を出されたものと考えられる。ナノプラスチックが水中で多数浮遊していること、堆積物中のマイクロプラスチックの計測の自動化、この2点の成果は、いままでの海洋プラスチックごみ問題を考えるうえで重要なポイントに大きな成果を上げることができたと評価する。

ドローンによるモニタリング体制を整えば、もっと効果的にプラスチックごみの回収が可能になってくると期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S